

長野県の農業地域類型別の農業概要

(旧市区町村別)

項目 地帯区分	総農家戸数		農業就業人口 (販売農家)		基幹的農業従事者 数(販売農家)		経営耕地面積 (総農家)		1戸当たり経営 耕地面積 (総農家) a
	戸	構成比	人	構成比	人	構成比	ha	構成比	
都市的地域	22,796	18.0	20,978	16.0	14,209	16.0	11,439	14.2	50.2
平坦農業地域	32,711	25.8	40,522	31.0	27,807	31.4	25,431	31.5	77.7
中間農業地域	48,867	38.5	49,268	37.7	32,928	37.1	31,791	39.3	65.1
山間農業地域	22,483	17.7	20,055	15.3	13,722	15.5	12,131	15.0	54.0
合計	126,857	100	130,823	100	88,666	100	80,792	100	63.7

* 2005農林業センサス(平成17年2月1日現在)

* 旧市町村は昭和25年2月1日現在の市町村

農業地域区分の分類基準

(平成18年4月1日現在)

名称 (根拠法令等)	指定要件	該当 旧市町村数	該当 旧市町村例
農業 地域 類型 別 基 準 指 標 (農林水産省)	都市的地域	72	長野市、若槻村、松本市、島内村など
	平地農業地域	83	小布施村、穂高村、長沼村など
	中間農業地域	155	信里村、飯山町、富士見村など
	山間農業地域	99	浅川村、伊那里村など

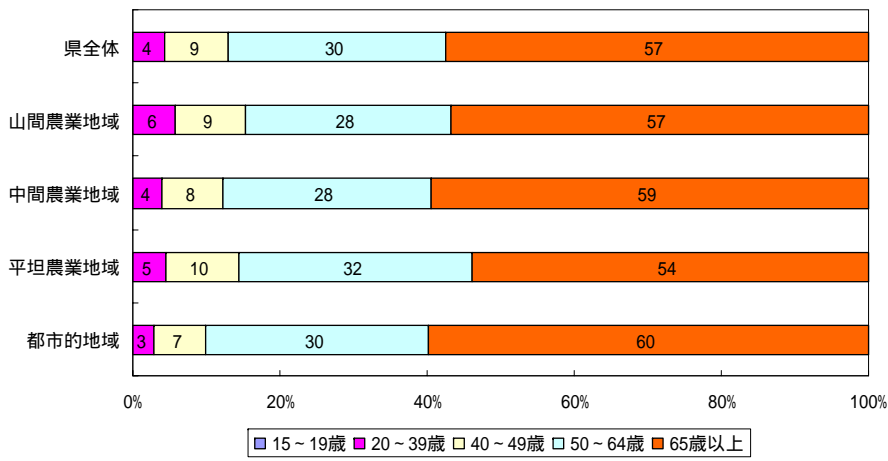
農業地域類型別の耕作放棄地の状況(2000年)

	経営耕地面積 ha	耕作放棄地 ha	耕作放棄地率 %
都市的地域	12,682	964	7.1
平坦農業地域	27,010	2,243	7.7
中間農業地域	36,141	5,334	12.9
山間農業地域	13,508	2,360	14.9
県	89,342	10,901	10.9

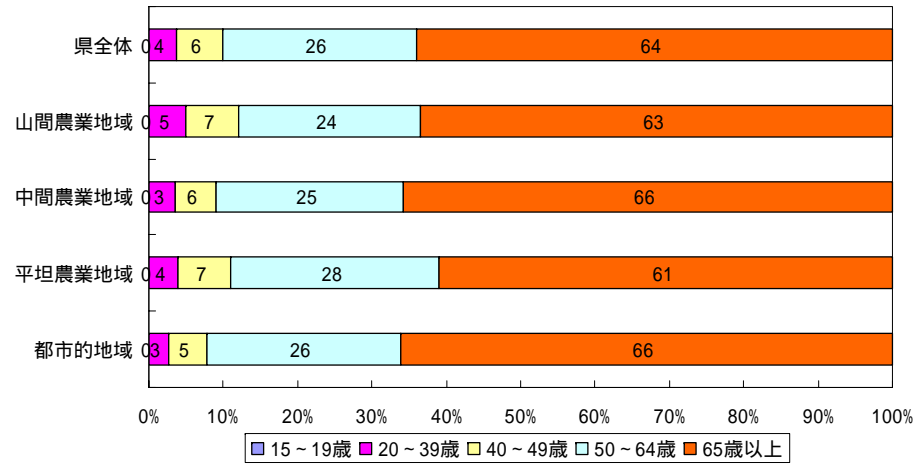
総農家戸数、農業就業人口、基幹的農業従事者数、経営耕地面積
 中間農業地域で、全体の約40%を占めており、次いで平坦農業地域で25~30%を占め、残りが都市的地域と山間農業地域でほぼ同様な傾向となっている。
 1戸当たり経営耕地面積
 都市的地域と山間農業地域は、1戸当たりの経営耕地面積が県平均より小さく零細な農業が営まれている。

1 農業地域類型別基幹的農業従事者の推移

2000年



2005年



平成12年

基幹的農業従事者(販売農家)

(単位:人)

	都市的地域	平坦農業地域	中間農業地域	山間農業地域	県全体
15 ~ 19 歳	0	10	16	3	29
20 ~ 39 歳	436	1,239	1,386	843	3,904
40 ~ 49 歳	1,100	2,730	2,829	1,359	8,018
50 ~ 64 歳	4,670	8,683	9,848	4,063	27,264
65 歳 以上	9,222	14,791	20,670	8,205	52,888

平成17年

基幹的農業従事者(販売農家)

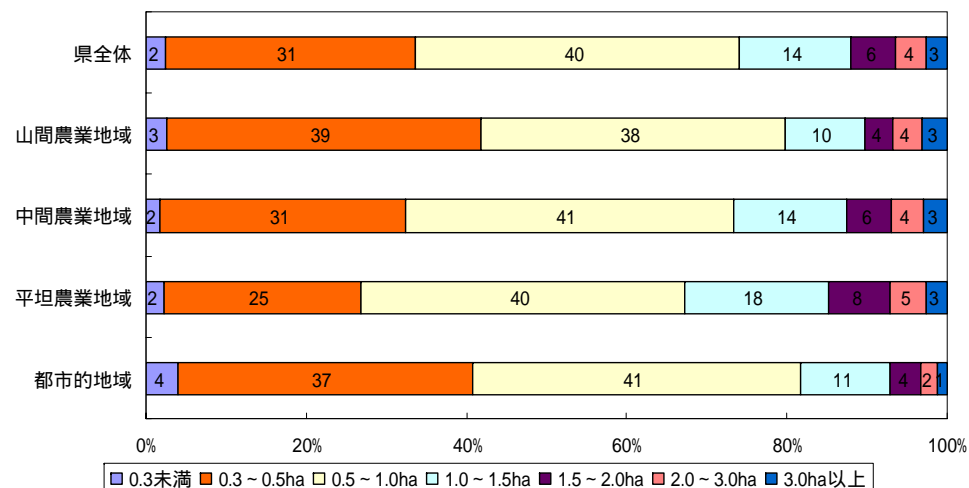
(単位:人)

	都市的地域	平坦農業地域	中間農業地域	山間農業地域	県全体
15 ~ 19 歳	2	9	13	7	31
20 ~ 39 歳	381	1,057	1,127	666	3,231
40 ~ 49 歳	720	1,999	1,858	991	5,568
50 ~ 64 歳	3,719	7,805	8,276	3,356	23,156
65 歳 以上	9,387	16,937	21,654	8,702	56,680

基幹的農業従事者数の推移を見ると、2000年センサスでは65歳以上の高齢者の構成比が都市的地域、中間農業地域、山間農業地域で約60%と高く、平坦農業地域では54%と高齢者の占める割合が他地域より低い状況にある。この傾向は5年後の2005年センサスでも同様であるが、高齢者の占める割合は、ともに6~7%上昇し高齢化が着実に進んでいる。

2 農業地域類型別経営規模別農家数の推移

2000年



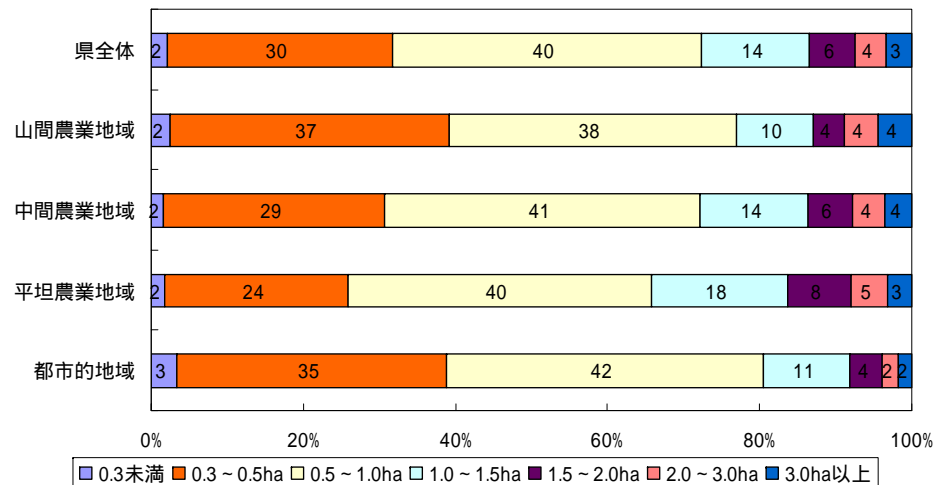
平成12年

経営規模別農家数(販売農家)

(単位:戸)

	都市的地域	平坦農業地域	中間農業地域	山間農業地域	県全体
0.3 未 満	574	575	637	372	2,158
0.3 ~ 0.5ha	5,309	6,403	10,964	5,552	28,228
0.5 ~ 1.0ha	5,898	10,526	14,617	5,367	36,408
1.0 ~ 1.5ha	1,592	4,640	5,025	1,397	12,654
1.5 ~ 2.0ha	558	1,992	2,001	503	5,054
2.0 ~ 3.0ha	301	1,215	1,442	518	3,476
3.0ha 以 上	179	666	1,041	446	2,332

2005年



平成17年

経営規模別農家数(販売農家)

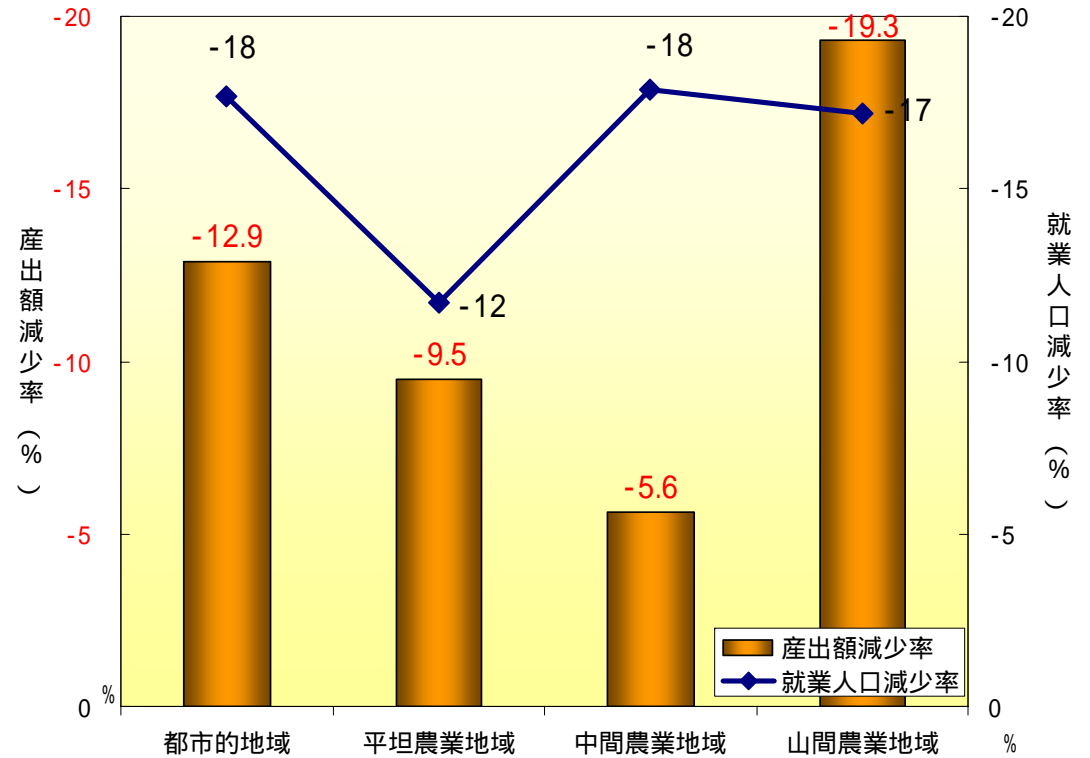
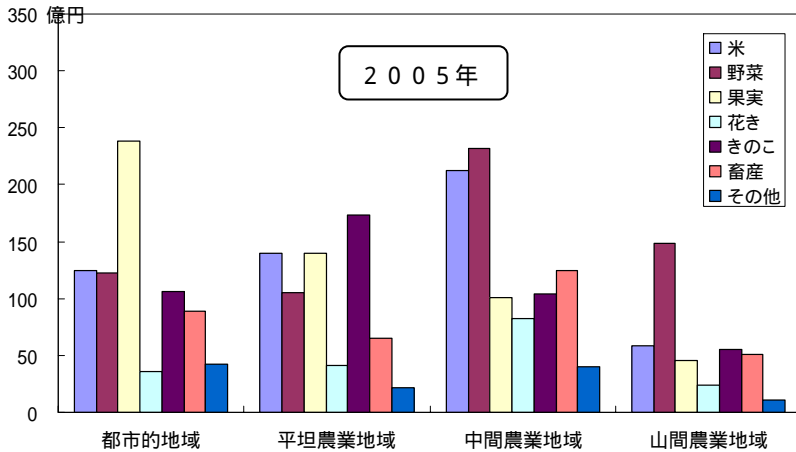
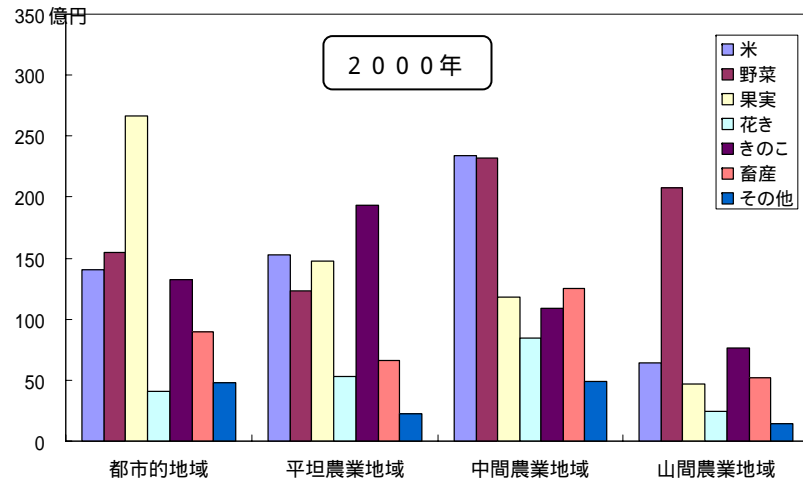
(単位:戸)

	都市的地域	平坦農業地域	中間農業地域	山間農業地域	県全体
0.3 未 満	403	417	443	283	1,546
0.3 ~ 0.5ha	4,148	5,483	8,428	4,163	22,222
0.5 ~ 1.0ha	4,892	9,106	11,940	4,282	30,220
1.0 ~ 1.5ha	1,332	4,073	4,117	1,158	10,680
1.5 ~ 2.0ha	482	1,886	1,686	455	4,509
2.0 ~ 3.0ha	263	1,115	1,206	497	3,081
3.0ha 以 上	204	715	1,033	509	2,461

経営規模別の農家数の推移を見ると、都市的地域と山間農業地域では経営規模の小さい小規模農家が多い状況であり、2000年センサスと2005年センサスを比較しても経営規模別農家数の構成割合には大きな変化は見られない。

3 農業地域類型別農業産出額と農業就業人口の減少率

2000年～2005年の間



資料：2000年センサス、2005年センサス、農業産出額（農林水産省）

農業産出額の増減率については、2000年の市町村を2005年2月1日現在の市町村に区分仕直し算出した。

農業産出額と農業就業人口の減少率を見ると、都市的地域と山間農業地域で、きのこの産出額の減少が大きく、平坦農業地域と中間農業地域では品目別の生産構造に大きな変化は見られない。

山間農業地域では、都市的地域、中間農業地域と同様の農業就業人口減少率であるが、農業産出額は2000年に比べ約2割減少しており、山間農業地域における農業生産力は大きく低下している。